

令和5年2月県議会定例会の結果について

教育政策課

1 日時

2月15日（水）～3月10日（金） 24日間

代表質問 2月21日（火） 1日間

一般質問 2月22日（水）～3月1日（水） 5日間

委員会 3月2日（木）～3月7日（火） 4日間

2 教育委員会関係の議案等

(1) 令和5年度長野県一般会計予算案 原案どおり可決

(主な事業)

- ・個別最適な学び研究事業
- ・産育休代替教員の事前配置による子どもの学び継続事業
- ・障がい特性に応じたICT機器等活用促進事業
- ・地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業

(2) 令和5年度長野県高等学校等奨学資金貸付金特別会計予算案 原案どおり可決

(3) 事件案

- ・高等学校の統合について 原案どおり可決

(4) 専決処分

- ・交通事故に係る損害賠償の専決処分 報告

(5) 令和4年度長野県一般会計補正予算（第6号）案 原案どおり可決

(主な事業)

- ・長野県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催基金積立金

(6) 令和4年度長野県高等学校等奨学資金貸付金特別会計補正予算（第1号）案 原案どおり可決

3 代表質問及び一般質問の概要

代表質問においては、3人の会派代表議員全員から、一般質問においては、一般質問を行った39人の議員のうち18人の議員から教育委員会関係について質問があった。

(1) 主な質問項目

- ・第4次長野県教育振興基本計画について
- ・高校再編・整備計画【三次】について
- ・個別最適な学び研究事業について
- ・30人学級への段階的移行について
- ・特別支援学級等で学ぶ子どもが通常の学級で学ぶ子どもと共に過ごせる仕組みづくりについて
- ・アスリートの教員採用の実績と活用について
- ・信州やまなみ国スポ・全障スポに向けた取組について

(2) 主な議論の内容

- ・第4次長野県教育振興基本計画の目指す姿に位置付けた「個人と社会のウェルビーイング」を実現するための方向性についての質問に対し、計画に「一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校をつくる」など4つの政策の柱を掲げ、それぞれを通し「個別最適な学び」及び「協働的な学び」を一体的に充実していくこととしていると答弁した。
- ・高校再編・整備計画【三次】の決定にあたっての課題認識及び解決に向けた取組についての質問に対し、地元地域や同窓会に対して、新校がどのような学校になり、どのような環境で将来の子どもたちが学ぶことになるのか等について十分に伝えきれていなかった面があり、今後、新校ごとに開催する懇話会での意見交換の様子を広く県民の皆様を知っていただけるよう、広報の方法について工夫していきたいと答弁した。
- ・個別最適な学び研究事業が目指す学習環境像についての質問に対し、教師が一斉一律に教えるのではなく、子どもが自ら問いを立て、一人で学んだり、友だちと一緒に学んだり、教師に質問をして説明を聞くなど、自ら学び方を選択し、自分のペースで解を導き出す学びへの転換が必要であると答弁した。

4 文教委員会における質疑の概要及び請願・陳情の審査について

(1) 主な質疑項目

- ・第4次長野県教育振興基本計画について
- ・部活動の地域クラブ活動への移行について
- ・高校再編について
- ・高校入学時のタブレット端末購入について
- ・非違行為の根絶について
- ・児童生徒の自殺対策について
- ・学校給食費について

(2) 主な議論の内容

- ・第4次長野県教育振興基本計画について、県民及び教育関係者へ、どのように普及させていくのかという質問に対し、動画やコンセプトブックを作成し普及を図り、特に教育関係者に対しては、教職員が目指す方向性を確認し、それぞれの立場で具体的に何ができるのか考えるきっかけになるよう、校長会など様々な場で伝えていくと説明した。
- ・部活動の地域クラブ活動への移行について、競技団体・市町村との協力が不可欠だと思うがどのようにしていくのかという質問に対し、協議会において、競技団体・市町村と課題を共有、論点について協議していくと説明した。
- ・このほか、高校再編、高校入学時のタブレット端末購入などについても、様々な意見が出された。

(3) 請願・陳情の審査

請願 4件（うち新規0件） 採択0件、審査未了4件、不採択0件

陳情 46件（うち新規4件） 採択2件、審査未了44件、不採択0件